



S コマンド

この章では、S で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

spf-interval

Shortest-Path-First (SPF) 生成の間隔を設定するには、**spf-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

spf-interval {*spf-max-wait* | *spf-initial-wait* | *spf-second-wait*}

no spf-interval {*spf-max-wait* | *spf-initial-wait* | *spf-second-wait*}

構文の説明

<i>spf-max-wait</i>	2 つの連続するリンクステート パケット (LSP) 生成間の最大間隔 (秒単位)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。
<i>spf-initial-wait</i>	最初の LSP 生成遅延 (秒単位)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。
<i>spf-second-wait</i>	最初と 2 番目の LSP 生成の間のホールドタイム (ミリ秒)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。

コマンド デフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- spf-max-wait : 8000
- spf-initial-wait : 50
- spf-second-wait : 50

コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、SPF 生成の間隔を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# spf-interval 9000 60 70
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

switchport mode fabricpath

インターフェイスを FabricPath ポートとして設定するには、**switchport mode fabricpath** コマンドを使用します。インターフェイスをデフォルトの設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

switchport mode fabricpath

no switchport mode

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード
仮想イーサネット インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注)

no キーワードは、インターフェイスをデフォルトのクラシカル IEEE 802.1Q イーサネット (CE) スイッチポート アクセス インターフェイスに戻します。FabricPath ポートは FabricPath VLAN として設定された VLAN のトラフィックだけを伝送します。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、特定のインターフェイスを FabricPath ポートとして設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/11-15
switch(config-if)# switchport mode fabricpath
switch(config-if)# no shutdown
switch(config-if)#
```

次に、FabricPath ポートとして仮想イーサネット インターフェイスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface vethernet 1
switch(config-if)# switchport mode fabricpath
switch(config-if)# no shutdown
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show interface brief	インターフェイスのステータスと情報の簡単なサマリーを表示します。

system default switchport fabricpath

デフォルトポートモードを FabricPath として設定するには、**system default switchport fabricpath** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

system default switchport fabricpath

no system default switchport fabricpath

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、デフォルトポートを FabricPath として設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# system default switchport fabricpath
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config	実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。

